

# 同窓会報

## 同窓会長挨拶



同窓会長  
西山 直司

同窓会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今年も学生の皆さんが多方面で活躍されています。意見発表では分野1類・3類において県大会最優秀賞を獲得し、東海ブロック大会へ進出しました。私も練習を拝見しましたが、大変しっかりとした内容で、発表も素晴らしい、深く感心いたしました。次世代の農業を担う若者が着実に育っていることを、大変嬉しく思っております。また、農業鑑定競技「野菜」コースでは全国大会優秀賞を獲得されました。私も学生時代に農業鑑定競技へ参加しました。当時はその意義をさほど実感しておりませんでした。が、広範な農業の学びは後に大いに役立ちました。ぜひ在校生の皆さんには、積極的に取り組んでいただきたいと思っております。体育系の部活動では、野球部、陸上競技部、卓球部、ソフトテニス部、剣道部が県大会へ出場を果たしました。各部とも目覚ましい活躍を見せております。母校の栄誉は、同窓生として大変喜ばしいことであり、ひとえに在校生並びに先生方のご努力の賜物と、心より敬意を表します。また今年、渥美半島観光ビューロー主催の「ヤシの実投流ツアー」に生徒2名が参加し、沖縄県立八重山農林高等学校との交流を行いました。参加した生徒にとって大きな刺激となったことと思います。

今年度は、アントレプレナーシップ教育研究事業の指定を受け、外部講師を招いて課題解決型学習に取り組みました。アントレプレナーシップとは聞き慣れない言葉ですが、ここで調べてみたところ、entrepreneur(起業家)と「ship(資質・技能)」を組み合わせた言葉であり、単なる起業家の育成にとどまらず、高い志や倫理観に基づき、失敗を恐れず新たな価値を創造しようとする精神や資質・能力を養う教育のことです。確かに、さまざまな組織や経営の現場において、現状維持の空気が強く、改革や挑戦を避ける傾向が見受けられます。「変わらないことは衰退と同義である」という言葉もあるように、常に挑戦する姿勢は大切です。我々大人こそ受講すべき講座かもしれません。この学びを通じて、次世代の農業者が積極的



発行 令和8年3月  
愛知県立渥美農業高等学校同窓会事務局

TEL 053112210406  
FAX 053112216462

に挑戦してくれることを心強く思います。

ここで少し、農業を含めた世相について触れたいと思います。昨今、農業資材に限らず物価高騰が続いています。また、金利の上昇により預金に利子が付くようになったことや、金価格の高騰なども話題になっています。何か時代の潮目が変わりつつあると感じている方も多いのではないのでしょうか。昨年、著名な経済学者である伊藤元重先生の講演を拝聴する機会がありました。その中で、経済は「鳥の目・虫の目・魚の目」で見ることが大切だとお話しされました。鳥の目は俯瞰、虫の目はミクロの視点。そして魚の目は「潮目」を読む力を指します。潮目を見極めることは容易ではありませんが、感覚的には時代の転換点に差し加かかっているように感じます。Z世代をはじめとする技術革新は社会構造を大きく変える可能性を秘めています。その中で農業の位置づけも、より重要なものへと変わっていくのではないのでしょうか。在校生の皆さんには誇りを持ち、それぞれの次のステージへ進んでいただきたいと願っております。

さて、昨年も触れましたが、少子化の問題は依然として厳しい状況にあります。田原市も例外ではなく、令和6年の出生数は287人とこのことでほぼ半減したことになります。人口減少に伴い、高校の在り方も大きな変革が求められるかもしれません。渥美農高は昭和26年、地域農業者の育成を目的に、当時の渥美郡十一ヶ町村(現在の田原市および豊橋市の一部)の請願によって設立されました。以来、長きにわたり地域農業の発展に貢献してまいりました。今後も日本有数の農業地域を支える農業教育の中心であり続けなければなりません。そのためには、最先端の農業技術や経営感覚を次世代へ伝えていく必要があります。より積極的に学校外のリソースを活用していくことも求められます。ぜひ同窓生の皆様のお力とお知恵をお貸しいただき、ご尽力賜りますようお願い申し上げます。

私が会長を務めさせていただいて以来、毎年のようにお伝えすることとなり恐縮ですが、50周年記念事業の一環として始まったオランダ王国・ウエラントカレッジとの姉妹校派遣事業は、本年も断念せざるを得ませんでした。実現に向けてご尽力いただいた諸先輩方、そして学生の皆さんには大変心苦しく思っております。今後も情報収集に努め、実現に向け鋭意努力してまいります。より良い形についても含め、皆様のお知恵をお借りできれば幸いです。

結びに、同窓生の皆様のご活躍と、渥美農高の彌榮を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

## 校長挨拶

「地域に愛され、信頼される学校であり続けるために」



校長  
神谷隆一郎

令和7年4月に渥美農業高等学校校長に着任いたしました神谷隆一郎と申します。歴代の校長同様、私も本校発展の原動力となるよう誠心誠意取り組みますのでよろしくお願いたします。

本校は、昭和26年4月創立以来、本年度創立75周年という節目を迎え、新たな一歩を踏み出しました。本校を築立っていった同窓生は、12,834名を数え、地域の農業、産業を支え、地域の自治、文化、スポーツの振興に大きく貢献し活躍されています。生徒たちは、今までの先輩たちが遺してくれた伝統を継承しながら、自らの目標にむかって、可能性を高めるべく、日々の教育活動等に意欲的、主体的に取り組む、充実した学校生活を送っています。今後も地域の農業高校としての実績、活発な部活動、農業クラブ活動、学校行事等を維持、発展させ、「農高」の魅力さらさら高めていかなければならないと考えています。その一環として令和7年度より2カ年にわたり「職業学科アントレプレナーシップ教育事業」を推進し、ビジネスに即したアントレプレナーシップ教育の実践と専門科目の知識・技術を応用した新たな価値を生み出す想像力豊かな人材の育成に取り組んでまいります。さらに、『あいちリーディングスクール事業』の指定を受け、英語教育のノウハウを連携指定校と共有し、さらなる英語教育の向上を推進し、英語を高いレベルで使いこなす人材の育成も目指していきます。

私の校長としての目標は、教育活動の中で、生徒が、確かな学力と人間性を身に付け、生徒と教職員が共に学び合い、喜びと感動を共有、共感し、成長し、夢を語り合うことができる活力ある学校にすることです。そして、生徒が将来の夢を実現し、「渥美農業高校に入学して本当によかった。」と思ってもらえる学校作りを推進することです。本校が未来に向かって発展していくために、我々教職員は全力で生徒を指導し、私自身も精一杯努力していく決意です。生徒一人ひとりにとって、喜びと感動を味わい、新しい発見をし、飛躍の1年、成長の1年になることを願っております。

今後とも、校章「働蜂」に込められた校訓である「聡明なる勤勞」(単なる労働ではなく、身に付けた知識・技術に裏付けされた理解力と判断力を活用し、地域社会へ貢献できる人間性溢れる働きができる。)のもと、教職員が一丸となって教育活動の充実をはかり、地域に愛され、信頼される学校として、地域の振興に寄与できる人材の育成に努めていきたいと思います。

結びになりますが、本校同窓会の益々の発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝を祈念すると同時に、これからも母校の教育活動への物心両面からのさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 活躍する部活動

## 剣道部

2年A組9番 川合 竣聖

私たち剣道部は、現在2年生6人、1年生6人の計12名で活動しています。剣道部の活動内容についてご紹介させていただきます。

稽古内容は、まず準備運動からスタートです。腕や肩からアキレス腱のぼしなど、怪我をしないよう入念に全身のストレッチを行います。素振りや基本動作を繰り返すことで正しい姿勢での打突や足さばきなどを反復練習します。

その後、面をつけ実際に相手の打突部位を打ちながら試合で勝利できるような技の研究を行っています。土曜日など練習時間が長い日には、試合をしてより実践的な稽古を行っています。

私たちの稽古の特徴は、部員全員で協力をして教え合っていることです。学年関係なく良いところやアドバイスできる場所に気が付いたら、積極的に声掛けを行い部員全員でスキルアップできるように取り組んでいます。息の上がるような稽古でも、部員全員で応援や励ましの声をかけることで乗り越えています。マネージャーも、夏の暑い日にはスポーツドリンクの用意や時間の計測、部内試合の結果がわかりやすいようにスコアの記入など協力をしてくれています。

そんな私たちの目標は県大会出場でした。令和7年度愛知県高等学校新人体育大会東三河地区予選では、団体2位という成績を修め、念願であった県大会出場を達成できました。私立の強豪校がいるなか、チームで勝ち取った東三河地区2位という成績は、日々の稽古が実を結んだと、とてもうれしい気持ちでいっぱいでした。

県大会では2回戦敗退と悔しい気持ちが残りま

したが、各部員が自身の課題を発見することができたので今後の稽古にこの経験を活かしていきたいと思っています。次の目標は、総体予選での県大会出場です。チーム一体となって目指していきます。

県大会の出場という目標が達成できたのは、周りの人の支えがあったからこそだと思います。送迎など部活に対して理解のある家族や今年度から剣道教師としてお世話になっている伊藤先生、部旗・手ぬぐいを寄付してくださったテクノマックス様などに感謝の気持ちを忘れずにこれからも稽古を続けていきたいと思っています。

## 陸上競技部

3年C組3番 石橋 大晟

私は陸上部に所属しており、キャプテンを務めています。部員数は総員17名で、新入生8名を迎え計25名で活動していました。「陸上競技」と一言に言っても「走る」「跳ぶ」「投げる」と種目によってルールや特徴が異なります。その内、私が力を入れていたのは「走る」のうち短距離になります。短距離種目では、最も短いものでは100mから始まり400mまでが競技に含まれます。トラック競技は、陸上競技において花形と言われているほど今日人口が多いため簡単には入賞することが難しいです。私は、中学校でも陸上競技部に所属していました。その当時は、コロナ渦の影響で大会の中止や練習が思うようにできなかった記憶があります。そのため、自分の中で大きな目標を立てることができずひたすら走る日々が続きました。

その記憶から高校から陸上競技を継続するか迷っていました。高校の大会を観る機会があったので、自分のかつての先輩を観にいきました。その

時に受けた衝撃は今でも覚えています。それは、「応援」です。中学校の部活では観ることができない景色がありました。頑張っている仲間を自分の様に応援し喜びや悔しさを共感している姿に感動しました。これまで、陸上競技は個人競技だと思っていましたが、チームで臨む競技であると感じが変わった瞬間でした。この経験から「自分も部活の仲間とがんばりたい」「多くの人から応援される選手でありたい」という気持ちが芽生えました。今でも覚えています。高校では、優勝を目指すために、練習前のアップや補強をきっちり行い怪我の防止に努め、練習する姿勢に気を付けてきました。その練習内容の意味や目的を理解することで陸上競技の面白さを深く知ることができました。これらの技術面の他、先生や先輩、友人などへの挨拶や礼儀をしっかりと身につけた人間性を成長させることを重視して練習に臨みました。これらの練習を日々繰り返し、3年の総体では、掛け替えのない仲間からの声援を糧に走りることができました。今思えばこの3年間は本当にあつという間で毎日が充実していたと感じています。あの時間が帰ってこないと思うと少し寂しいです。しかし、これまで陸上から学んだ多くの経験は今後の人生の中で大きな財産となり、いつか自分の役に立つと確信しています。最後に、これまで指導してくださった杉浦先生や渡邊先生、佐々木先生それからこれまで一緒に頑張ってきた陸上部のみんな今まで本当にありがとうございました。渥美農業高校の陸上部に入部して本当に良かったです。

■剣道部

四月十九日

第五十二回豊橋市武道館開館記念剣道大会

団体

本校 1-2 蒲郡

四月二十日

第六十二回東三河御津剣道大会

団体

本校 4-1 豊橋南

本校 1-4 豊川

五月十日

愛知県高等学校総合体育大会剣道競技東三河予選会

個人

太田聖也 二回戦進出

川合竣聖 二回戦進出

五月十一日

愛知県高等学校総合体育大会剣道競技東三河予選会

団体

本校 2-1 成章

本校 0-3 豊橋工科

八月二十三日

第七十一回全三河剣道大会

団体

本校 A 0-4 愛産大 B

本校 B 0-5 刈谷工 A

九月十四日

第六十二回東三河剣道大会(豊川大会)

団体

本校 4-0 桜丘

本校 1-2 豊橋工科

三位

十月二十六日

東三河高等学校新人体育大会

個人

坂牧玄悠 二回戦進出

鈴木悠太 二回戦進出

十一月三日

東三河高等学校新人体育大会

団体

予選りーグ

本校 3-0 豊橋東

本校 0-5 桜丘

二次りーグ

本校 5-0 豊橋工科

本校 2-1 時習館

決勝 本校 0-5 桜丘

準優勝

十一月二十二日

愛知県高等学校新人体育大会

団体

本校 2-1 岡崎

本校 1-2 西春

五月三日、五日

第七十九回愛知県高等学校総合体育大会東三河予選

男子やり投げ

一位 柏原 京平 (県大会出場)

三位 高柳 俊佑 (県大会出場)

六位 吉川 晴貴 (県大会出場)

女子やり投げ

二位 村田 魅沙稀 (県大会出場)

男子砲丸投げ

一位 柏原 京平 (県大会出場)

男子円盤投げ

三位 松下 批侶斗 (県大会出場)

女子円盤投げ

一位 村田 魅沙稀 (県大会出場)

五月二十四、二十五日

第七十九回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会

男子円盤投げ

三十位 松下 批侶斗

女子円盤投げ

二十四位 村田 魅沙稀

男子やり投げ

七位 高柳 俊佑

八位 柏原 京平

三十八位 吉川 晴貴

二十六位 村田 魅沙稀

六月一日

第四十一回東三河陸上競技選手権大会

男子やり投げ

三位 高柳 俊佑

女子やり投げ

一位 村田 魅沙稀

■陸上競技部

三月八日

令和七年度春季東三河高校野球大会

一次りーグ戦

本校 15-0 蒲郡東

本校 6-3 小坂井

本校 7-1 時習館

本校 5-4 国府

二次トーナメント戦

本校 0-10 豊橋中央

四月二二日

第七十五回愛知県高等学校優勝野球大会

一回戦

本校 5-4 愛知

二回戦

本校 1-2 誉

五月二十四日

第百五十二回中日旗争奪全三河高校野球大会

一回戦

本校 2-4 西尾東

七月六日

第百七回全国高等学校野球選手権愛知大会

二回戦

本校 5-7 豊田大谷

八月一日

令和七年度秋季東三河高校野球大会

一次りーグ戦

本校 7-6 成章

本校 3-6 国府

本校 8-4 豊橋東

本校 8-1 豊橋南

二次トーナメント戦

本校 6-3 小坂井

五位決定戦

本校 3-0 時習館

■卓球部

四月二九日

愛知県高等学校総合体育大会東三河支部予選

(女子シングルス)

小林優依 九位 県大会出場

九月十三日

第七十八回愛知県高等学校野球選手権大会

一回戦

本校 6-7 刈谷工科

十月十二日

第百五十三回中日旗争奪全三河高校野球大会

一回戦

本校 5-8 愛産大三河

五月五日

愛知県高等学校総合体育大会東三河支部予選

〈男子ダブルス〉

高井勇利・花井哲太

五位 県大会出場

五月六日

愛知県高等学校総合体育大会東三河支部予選

〈女子ダブルス〉

小林優依・河合結夢

七位 県大会出場

〈男子団体〉 三位

県大会出場

五月十七日

愛知県高等学校総合体育大会卓球競技大会

〈女子シングルス〉

小林優依 ベスト128

〈男子団体〉

本校 0-3 岡崎城西

ベスト32

五月二十四日

愛知県高等学校総合体育大会卓球競技大会

〈男子ダブルス〉

高井勇利・花井哲太 ベスト64

〈女子ダブルス〉

小林優依・河合結夢 ベスト64

六月十五日

国民スポーツ大会卓球競技少年の部東三河支部予選会

〈男子シングルス〉

高井勇利、花井哲太 推薦により東三河予選免除

宇佐見心 七位 東三河支部通過

〈女子シングルス〉

小林優依、河合結夢 推薦により東三河予選免除

七月五日

国民スポーツ大会卓球競技少年の部一次 予選会

〈男子シングルス〉

高井勇利 一回戦 敗退

花井哲太 一回戦 敗退

宇佐見心 一回戦 敗退

〈女子シングルス〉

小林優依 ベスト64

河合結夢 一回戦 敗退

八月五日

東三河地区高等学校卓球選手権大会

〈男子シングルス〉

花井哲太 優勝

高井勇利 五位

中村瑠彩 ベスト16

■バスケットボール部

四月十九日(土)

第七十九回愛知県高等学校総合体育大会バスケットボール競技東三河支部予選会

一回戦

本校 136-39 あいち情報専門学校

二回戦

本校 61-126 豊川

八月九(土)~十一日(月)

令和七年度東三河支部高等学校バスケットボール競技夏季選手権大会

一回戦

本校 54-64 豊橋工科

二回戦

本校 55-53 時習館

三回戦

本校 62-42 蒲郡

第七十八回全国高等学校バスケットボール選手権大会愛知県大会東三河予選会

一回戦

本校 77-43 蒲郡東

二回戦

本校 68-62 時習館

三回戦

本校 52-66 豊橋東

ベスト8

■バレーボール部(男子)

四月二十六日(土) 会場:豊橋中央高校

令和七年度愛知県高等学校総合体育大会バレーボール競技東三河支部予選会

渥美農業 0-2 国府

七月十九日(土) 会場:豊橋中央高校

令和七年度愛知県高等学校バレーボール選手権大会東三河支部予選会

渥美農業 2-0 国府

渥美農業 1-2 桜丘

九月二十七日(土) 会場:豊川高校

第七十八回全日本バレーボール高等学校選手権大会東三河支部予選会

渥美農業 2-0 豊橋南

渥美農業 0-2 豊川

十二月十三日(土) 会場:豊橋工科高校

令和七年度東三河高等学校バレーボール選手権大会

男子予選リーグAリーグ

渥美農業 0-2 豊橋中央

渥美農業 2-1 豊丘

渥美農業 2-0 豊橋南

男子予選リーグEリーグ

渥美農業 2-0 蒲郡

渥美農業 2-0 成章

十二月十四日(日) 会場:豊橋中央高校

渥美農業 0-2 桜丘

令和七年度愛知県高等学校新人体育大会バレーボール競技東三河支部予選会

一月十七日(土) 会場:渥美農業

■バレーボール部(女子)

四月二十六日

令和七年度愛知県高等学校総合体育大会バレーボール競技東三河支部予選会

一回戦

本校 0-2 藤ノ花女子

七月十九日

令和七年度愛知県高等学校バレーボール選手権大会東三河支部予選会

一回戦

本校 0-2 藤ノ花女子

九月二十七日

令和七年度第七十八回全日本バレーボール高等学校選手権大会東三河支部予選会

一回戦

本校 0-2 小坂井

■ソフトテニス部

四月二十日

第七十九回愛知県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技東三河支部予選会

個人戦(ダブルス)

柏尾 凌亜・香山脩牙(ベスト8)

県大会出場

団体戦

予選リーグ二位  
決勝リーグ五位  
県大会出場

五月十八日・二十四日

第七十九回愛知県高等学校体育大会ソフトテニス競技

個人戦

柏尾 凌亜・香山脩牙 (二回戦進出)

団体1回戦敗退

本校1―②誠信高校

六月二十八日

令和七年度国民スポーツ大会ソフトテニス競技東三河支部予選会

個人戦(ダブルス)

原 虎白・鬼頭 駈

藤城慶五・松井悠馬

(ベスト32)

七月十九日

令和七年度全三河高等学校ソフトテニス競技東三河予選会

団体戦 六位

全三河出場

九月十四日

令和七年度愛知県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技東三河支部予選会

個人戦(ダブルス)

原 虎白・鬼頭 駈

藤城慶五・小原和也

黒瀧優成・河合晃良

(ベスト32)

団体戦

予選リーグ二位

決勝リーグ八位(〇勝七敗)

本校 0―③ 豊川

本校 1―② 新城有教館

本校 1―② 豊橋東

本校 1―② 蒲郡

本校 1―② 豊川工科

本校 1―② 豊橋中央

本校 1―② 国府

■バドミントン部

四月十九日～二十九日

愛知県高等学校総合体育大会バドミントン競技三河支部予選会

男子

団体

一回戦 本校 3―1 刈谷北

二回戦 本校 2―3 豊田

個人・シングルス

三B柴田 ベスト32

個人・ダブルス

二B柴田 二B林ベスト32

九月十三日～二十三日

愛知県高等学校新人体育大会バドミントン競技三河支部予選会

男子

団体

一回戦 本校 1―3 猿投農林

個人・シングルス

二C 近藤宏充 ベスト32

女子

団体

一回戦 本校 3―1 時習館

二回戦 本校 1―3 安城学園

個人・シングルス

二D森下瑠香 ベスト32

個人・ダブルス

二D寺澤・二D森下 組 ベスト16

(県大会出場)

■吹奏楽部

七月二十六日

愛知県吹奏楽コンクール東三河地区大会高等学校の部【フライ

マリーの部】銀賞

二年高橋青空・山田莉緒・小川みやび・河合凜奈

■パソコン部

八月八日

第三十九回全国パソコン技能競技大会情報処理競技

佳良賞 二C 川口 倅史

■農業クラブ

令和七年度愛知県学校農業クラブ連盟 プロジェクト発表会I類

六月十日(渥美農業高校) 優秀

令和七年度愛知県学校農業クラブ連盟 プロジェクト発表会III類

六月十三日(半田農業高校) 優秀

令和七年度愛知県学校農業クラブ連盟 意見発表会

七月二十三日(水)(新城文化会館)

I類 三B柏原京平 最優秀 III類 二A柴田結衣 最優秀

令和七年度東海ブロック連盟 意見発表会

八月五日(岐阜県可児市)

I類 三B柏原京平 優秀 III類 二A柴田結衣 優秀

令和七年度愛知県学校農業クラブ連盟 農業鑑定競技会

七月二十九日(半田農業高校)

生活コース 優秀 二D河邊優樹菜

令和七年度愛知県学校農業クラブ連盟 農業情報処理競技会

八月二十六日(渥美農業高校)

最優秀 二C 川口倅史 優秀 二C 伊藤圭哉

令和七年度日本学校農業クラブ連盟全国大会西関東大会

農業鑑定競技会 十月二十二日(山梨県立農林高等学校)

分野野菜 優秀 三A 彦坂香穂